



◇「特集」



国土交通省関東運輸局  
東京運輸支局  
支局長 小竹 壽朗

関東運輸局 東京運輸支局長の小竹です。

ロジ研の「ひびき」はいつも楽しみに読ませていただいています。

先日、ひょんなことからロジ研広報委員長の山田さんと「ひびき」についてお話しする機会があり、なんか書きますか、載せてもらえますか、と話が弾みました。そんなこんなで、御挨拶を兼ねて投稿させていただきます。着任以来2年になるかというのに今さら御挨拶でもないのですが、というより、もうすぐお別れの御挨拶を申し上げる時期なのですが、まずは一席。

私のこれまでの行政経験は海事分野が中心（出身が船舶技官なので、なかでも主にそちら方面）でしたので、東京運輸支局で初めて陸運行政に携わりました。正直に申し上げてトラックと言うと、まさに先日の事故防止大会での区立小学校PTAのお母さんがおっしゃったのと同じ感想、こわい、乱暴、柄悪い、でした。しかし、この2年、東京都トラック協会の各種活動に参加させていただき、またさまざまな場面でトラック協会会員の皆様とお付き合いいただく機会を通じて、全く自分の認識が誤りであったと深く反省しています。

同じく事故防止大会でトラックはPRが下手なのは、という御意見がありましたが一理あると思います。ただ付言すれば、私が御挨拶して名刺をいただくような方はトラック協会、支部などの活動に積極的に参加される優良事業者の方々が多いのですが、そもそも協会に加盟していない方の中には確かに首をかしげざるを得ない事業者も多々いらっしゃることも事実です。大高会長もおっしゃっていますが、白が事故、不祥事をおこしても、世間さまはトラック、ダンプはと、十把一絡げに見られることは事実で今後の大きな課題です。

それで、やっと本題です。

先日の事故防止大会はこれまでと趣向を変えていろいろ工夫がこらされていました。昨年出席して、正直若干マンネリの感があるなと感じていました。しかしながら、これまで続いた事を無難に踏襲するのではなく新しい試みに挑むには勇気が必要であり高く評価されます。決断し実行された江森事故防止委員長を初めとする関係者の皆様方、そしてパネリストとして参加された松本本部長、笠原青年部副本部長さんに改めて敬意を表します。

私は、夕刻に別業界で本年最後の新年会があったため、第2部パネルディスカッションまで出席し、宮本慎也さんのお話は伺えませんでした。パネルディスカッションは非常に興味深くお話を伺いました。

コーディネーターの白石先生にはもう少し勉強して臨んでいただきたかったのですが、PTAの方に出席いただいたのはヒットだと思いますし、松本本部長の見識の高さに改めて感心した次第です。

松本本部長さんのお話の中でいくつか感心したお話し。「こじろお」は用意されていたお話でしょうが、こども、自転車、老人、オートバイ。なるほどです。白石先生が、「お」はおぼさんでなくてよかったと受け狙いでしたが、おぼさんでもよかったのかも。もうひとつ、プロドライバーの心得として、・優先権を忘れる、・路線バスのつもりで、・見られている、を挙げていらっしゃいました。



事故防止大会

「見られている」は、誰でもどこでだれかに携帯で録画されてユーチューブに投稿され世界中に発信されるかもしれないとの御紹介がありましたが、NHKでユーチューブの人気の投稿を紹介するコーナーがあったことを思い出し、なるほどと納得した次第です。

ここで、やっとホントの本題です。

「優先権を忘れる」という考え方に、私がかつて経験した運転マナー・心がけに関する考え方に通じるものを感じました。それは、かつて海外で経験したエピソードからきています。

「輸送において安全が第一」と決まり文句のように口にするのですが、その目指すところは一概に万国・万人同じとは言えないのではないかと思います。十数年前に3年間米国ニューヨークに駐在した経験がありますが、その際運転マナーに関して感じたことをご紹介します。

(実は申し訳ありませんが、ここから先は以前どこかに投稿した原稿と程同じです。)

よく米国の国名 USA は直訳すると合衆国ではなく合州国ではないかといわれるように、各州の自律性が非常に高く各種制度が必ずしも共通ではありません。州兵も有していますし、民法・刑法も原則として州法の管轄です。(極端な例をいえば、死刑がある州と無い州があります。)

自動車運転免許に関しても、国際免許証を持っていけば書類手続きだけで現地の免許証が交付される州もあると聞きましたが、ニューヨーク州ではドライバーズライセンスを取るには外国人であっても米国人と同じ現地の試験(筆記、実技の両方)を受けなければなりません。筆記試験は意外に簡単で、中学生レベルの英語による100問の三択問題、内容は日本の交通常識があれば大体クリアするものでした。

問題は実技試験。仮免許は申請すれば試験もなくすぐ交付され、助手席にベテランのドライバーが乗っていけばいきなり路上で運転することが可能です。日本の教習所のような囲われた練習所はありません。実技試験を申し込むと、試験の日時・場所が指定され、そこへ各自が自分で試験を受ける車を持っていき、試験官がトコトコやってきて試験を行います。

内容は日本の試験と大差ないものですが、路上でUターンや縦列駐車なども含まれて結構難易度が高いものでした。

えらそうなことを言っていますが、外国人が一発勝負で対応できるわけもなく、多くの日本人駐在員は事前に日本人のインストラクターがいるスクールで勉強していました。日本のようにこちらから教習所に出向くのではなく、インストラクターが車に乗って自宅まで来てくれるので、その車でいきなり路上練習です。

前置きが長々となりましたが、その際にインストラクターに繰り返し言われ、記憶に残り皆様にご紹介したい印象的な言葉があります。

「ディフェンシブ・ドライビング」語感カッコ良いのですが、中身は要するに他人を信用するなということです。周囲の他の車・人間がどんな予測不可能な行動をとっても事故を避けられるように注意しろと。

対比として言及されたのが、日本では所謂「もらい事故」が多いというものでした。例えば、高速道路の合流点などで自分が優先権のあるレーンを運転していて、他の車が進入してきたときに危ないなと思っても、俺が優先なんだからお前がよけろと最後まで意地を張ってとうとうぶつかってしまうといった類の事故です。

これがディフェンシブ・ドライビングだと、他の車はどんな行動をとるか分からない、例えば交差点を青信号で通過するときでも、横から赤信号で突っ込んでくる車があるかもしれないので常に用心しろということになります。あまり極端な事を言うと交通ルールも信号も不要ということになってしまいますが、心構えの問題として理解できる話です。

その結果米国の方が事故が少ないかという、比較できるデータを持っていませんので何とも言えませんが、日本における「もらい事故」の話とあわせて、なるほどと思わせるところがあります。

最近の日本人は余裕がなく、車の運転だけでなく、もっと普遍的にあてはまる現象かもしれません。歩行者同士のトラブルも多い気がしませんか。右側通行なんだからお前の方が避けろと言ったたぐいです。朝の通勤電車でも肩をいかせて風を切っているサラリーマンが多くよく喧嘩を見かけます。車が来そうな交差点でも、歩行者が信号が青になった途端に、歩行者が飛び出したりして。赤信号でぶつかって来たたらお前が悪いとばかりに。でも、けがをしたら、どちらが正しい、間違っているとは関係なく、痛い思いをするのはけがをした本人なのですが。

話しは変わりますが、昨年末に安全総点検でうかがったバス事業者さんの点呼場に「防衛的運転」と大きく掲載されていました。

同じようなことを考える方はいらっしゃるのだなと思いましたが、しかし、これにも後日談があり、今年に入ってその事業者さんが死亡事故を起こしてしまいました。どれだけ一生懸命やっても、末端まで浸透させることが難しく、また防御的に行動しても尚且つ巻き込まれる事故もあります。理念を実践につなげることの難しさ。

良く申し上げるのですが、事故は確率です。事故を絶対に起こさない方法は車を動かさないことしかありません。しかし逆に言えば確率がゼロにならない以上、安全対策もこれで万全100点

はないはずで。事故を起こした後で、ああしておけばよかった、こうしておけばよかったと後悔することを少しでも減らすよう、出来ることはあるはずと信じたいですね。

安全に関することなどえらそうなことを言いながら、何の話かと思うことになりましたが、日米国民性に関する蘊蓄話の一つとしてご紹介しました。

長文の駄文にお付き合いいただきありがとうございます。ありがとうございました。

2014. 2. 28



### ◇「＜美食の点呼記録＞・・・」

先月は大雪に対応して投稿をすっかり忘れてしまいました。申し訳ありません。謝りついでに私からのレポートは今回で一区切りとさせていただきます。さて、最終回にふさわしい店は渋谷からお届けしましょう。若者の街と侮るなかれ。道玄坂を上り怪しい雰囲気は抜けていくとその店はあります。「産直屋たか」完全予約の日本酒専門店です。料理の予算に応じたお任せとなり、和食・日本酒を骨の髄まで堪能する事ができます。ここで特筆すべきは料理の予算とあった通り、日本酒はサービスとなっている点です。

乾杯のビールは提供してくれますがその後は日替わりで7種類ほどの日本酒を愉しむことができます。日本酒以外の取り扱いはありません。つまみは魚介類がメインとなりますが、日本酒との相性抜群でじんわりと幸せがこみ上げてきます。

予約となると少々煩わしいが、新宿支部にママなのが居ますので問い合わせ下さい。

これまで、独断と偏見でお勧めを紹介してきましたが、これには諸先輩方のご協力なくしては成り立ちませんでした。この記事の為に名店をご紹介するだけでなく御馳走までして頂いた先輩たちにこの場をお借りしてお礼申し上げると共に、「いつも読んでるよ！」とお声掛け頂いた皆様及びこの機会を与えて下さった鬼編集長には心から感謝申し上げます。この辺でペンを置きたいと思えます。本当にありがとうございました。

産直屋たか 渋谷区円山町12-2 B1 TEL: 非公表  
初めてご来店(ご予約)のお客様へ

<http://ameblo.jp/nata92513/theme-10045750914.html>

<ペンネーム 常時無礼講>

### ◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 3/20(木) 16:30~ 三組織連絡会 (東ト総合会館 6階中)
- 4/24(木) 16:00~ 正副本部長会議 (東ト総合会館 役員室)
- 5/20(火) 16:00~ 正副本部長会議 (東ト総合会館 6階中)
- 5/20(火) 16:30~ 幹事会 (東ト総合会館 6階中)
- 6/ 4(水) 青年部総会 (東ト総合会館 7階)
- 6/ 6(金) 女性部総会 (東ト総合会館 7階)
- 6/10(火) ロジ研総会 (東ト総合会館 7階)